7　本時の目標

加法や減法が用いられる場面を式に表したり，式の根拠を説明したりすることができる。

8　準備物　　掲示物，ワークシート

9　展開

	つかむ・見通す	解決する	まとめる・ふりかえる
発問	○問題①を読みましょう。 ○今日の問題を読んで式が書けますか。 ○どんな式になりますか。どうしてそう考えたのかも言いましょう。	○問題②を解きましょう。今度は，どんな式になりますか。どうしてそう考えたのかも言いましょう。 ○問題③も解きましょう。どうしてそう考えたのかも言いましょう。	○問題文を解くために，どんな数や言葉があれば問題文を解くことができますか。 ○練習問題をしましょう。 ○ふり返りを書きましょう。
活動	○問題①を読み，挿絵から必要な数を見つけて，加える。 ○立式をするために，必要な２つの数を見つける。 ○たし算言葉を用いて，根拠を持って演算決定し，立式する。	○問題文に分かっている数を付け加え，立式の根拠となる言葉を見つける。 ○合併や増加の場合では加法を適用すること，求差の場合では減法を適用することを，言葉と結び付けて説明させる。	○本時の学習をまとめる。 ○練習問題を解く。 ○本時のふり返り（分かったこと・できたこと・分からなかったこと）を書く。

12／15　　どんなけいさんになるのかな？

課題　どんなけいさんになるか　かんがえて，せつめいしよう。

もんだい

①おすの　らいおんが　④とう　います。
　めすの　らいおんが　⑦とう　います。
　らいおんは，みんなで　なんとういますか。

あわせる

たしざんになるわけ
あわせるからたしざん

たしざん

（しき）　４＋７＝11

（こたえ）11とう

くらべるからひきざん

②おやの　しまうまが　⑫とう　います。
　こどもの　しまうまが　③とう　います。
　どちらが　なんとう　おおいでしょうか。

ちがいは？

ひきざんになるわけ
くらべるからひきざん

（しき）12－3＝9

（こたえ）おやのしまうまが９とうおおい

ふえるとだからたしざん

③しまに　ぺんぎんが　⑧わ　います。
　しまに　④わ　くると，しまに　いる
　ぜんぶで　ぺんぎんは　なんわに　なりますか。

たしざんになるわけ
ふえるからたしざん

（しき）8＋4＝12

（こたえ）12わ

まとめ

・分かっているかず２つを　見つける。
・たしざんや　ひきざんの　ことばを見つける。

練習　おすの　らいおんが　④とう　います。
　めすの　らいおんが　⑦とう　います。
　どちらが　なんとう　おおいでしょうか。

ちがいは？

くらべる

ひきざん

ひきざんになるわけ
くらべるからひきざん

（しき）7－4＝3

（こたえ）めすのらいおんが３とうおおい

○支援と■評価

○聞かれていることを確認し，全員で問題場面の把握をする。
○問題場面を把握させるために，合併の場面なのか増加の場面なのかを動作化する。
○２つの分かっている数を見つけることで，問題文が完成し，立式できることをおさえる。

○分かっている数に着目させ，個人思考に取り組ませる。
○演算決定の根拠となる言葉を□で囲ませたり，絵に矢印を書かせたりする。
（フォローアップ対象児童への手立て）
○立式において，演算を決定した理由(なぜたし算／ひき算になったのか。）を発表させる。
○全体交流では，複数の児童に説明させ，定着を図る。
○問題文と絵と式を対応させながら説明させる。

○立式するためには，分かっている数（２つ）とたし算言葉，ひき算言葉を見つけ，問題場面を把握させる。
○練習問題を解くことで，学習の定着を図る。
■加法や減法が用いられる場面を式に表したり，式の根拠を説明したりすることができる。